

生きる 褒める種まき!



先週は学校だよりを教頭先生に書いていただきました。何か私では書けないような深い内容のおたよりで、私自身も勉強になりました。ここには「褒める」といふ考察をじっくりと紹介しています。実は先週の名担任から出される学級通信でも、「褒める」内容の記事が多く紹介されていました。「みなも通信」では、研究授業の時の子どもたちの様子や担任の取り組みが紹介されています。「愛+00」では、褒め言葉のシャワーについて紹介。「Advance60」は、先週に限らず毎週のように子どもたちの頑張りが「これぞわ!!」と紹介されています。

「褒める種まき」は、今年度の学校経営の柱のひとつですが、本校職員は実践をしっかりとやっています。ありがたいことです。

子どもたちの自己肯定感を主体性として育てるためには、日頃からの褒めを大切にすることがとても重要です。

以下、「褒める種まき」の3つの本質です。

- ① 「すぐに成果を計測しないこと」 効果とあらず、いつか実と結ぶ。と言いつつ、関わり続ける姿勢が大切である。
- ② 「結果ではなく存在やプロセスと認める」 日頃のプロセスや存在そのものの承認が、心の土壌と豊かにする種となる。
- ③ 「過去の本人と比較する」 他の人との比較はしない。過去からの成長を伝えることは、自分ごとと見てくれる。という安心感につながる。

今年の夏、我が家の庭に向日葵の種をまきました。昨年はぐんぐん成長してくれたので、今年もたくさん収穫したい!!と少々油断していたのもいけません。結果、一輪も咲くことはなく土に帰ってしまいました。何が足りなかったのかはよくよく考えてみる。植えた種に意識がなかったのかと考えると、やはり「褒める種まき」が足りなかった...、と反省していたのもいけません。

褒める種まき
「褒める」は、
「自信」という名の
花になる



市民合唱団の練習がスタートしました

「生きる第16号」で、学校施設の有効利用について紹介させていただきましたが、さっそく9月10日(木)が1回目の練習日でした。今回は16名の方が練習にいらっしゃいました。練習の様子を覗きに行くと、以前同勤した先生の顔を見つけ、「あら～久しぶり～」となりました。とても懐かしかったです。しばらく練習の様子を見ていましたが、皆さんとても歌が上手で感動しました。今後は子どもたちも積極的に交流できると、合唱団の方々も喜ばれると思います。

菊池北中学校第25回定期演奏会 9月20日(日)14:00～

8月1日に予定されていた定期演奏会ですが、7月28日に発生した熊本地震の影響から、安全性の配慮や被災者への配慮等を考え、開催を9月20日に延期しました。場所は菊池市文化ホールです。いよいよ本番です。限られた練習期間を大切に使い、多くの方々に支えられながら、部員全員で最高の舞台にしようと頑張ってきました。当日は、そんな北中吹奏楽部が奏でる音楽の調べを最後までごゆっくりお楽しみください。多くの来場をお待ちしています。

